こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員　松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

＜ №367　2018.6.13　　連絡先　402-1622＞

島くみこ個人事務所開き

６月１０日（日）、島くみこ個人事務所開きがありました。島氏は、和歌山市にカジノはいらない。安心して暮らせる和歌山市にしようと訴え、市民の要求実現に全力を挙げる決意を表明。参加者とともに「変えるde和っしょい」とコールしました。

７つの基本政策を紹介します。

○市民の声が生きる市政
○カジノはいりません
○子ども、若者によりそう
○高齢者、障害者によりそう
○いのち、くらしによりそう
○環境壊す計画はストップ
○平和憲法を守り、憲法を暮らしに生かす

日本共産党議員の一般質問

・６月１４日（木）３番目
松坂みち子　介護保険について
生活困窮者自立支援について

・６月１４日（木）４番目
中村あさと　学校図書館について
児童養護施設について

・６月１５日（金）２番目
ひめだ高宏　市長の政治姿勢について
各種事業の進め方について

・６月１８日（月）２番目
森下さち子　市長の政治姿勢について
ＩＲについて
教育行政について
学校給食について

・６月１９日（火）１番目
南畑さちよ　メガソーラーに計画に関わる諸問題について
水道行政について

みち子のひとりごと　歯痛−その後

２月から悩まされていた歯痛。初めは「打撲のようなもの」といった診断もあったので、様子を見ていたのですがよくならず、結局、神経の治療を行い、６月になってやっと終わりました。つくづく歯は大事にしなくてはと思います。

タイミングよく口腔衛生の話を聞く機会がありました。「噛んで食べることが年をとっても元気でいられることの秘訣。歯磨きは５分間、歯ブラシを鉛筆のように持って歯と歯茎の境を優しく細かく。口中の細菌が病気のもとになることもあり、歯磨きが大切です。災害時の備えとして、防災グッズの中に歯ブラシ入ってますか？またどこで災害が起こるかわかりません。普段持ち歩くかばんにも入れておきましょう。」

５分間は長いけれど、歯ブラシに何もつけずにテレビを見ながら手を動かしていると、意外とできます。私は最後に少しだけ歯磨き粉をつけて仕上げます。

芸能人でなくても『歯は命』…古い？

こんにちは井本ゆういちです

すごいテレビ番組を見ました。NNNドキュメント「南京事件Ⅱ」という番組で、10日付日曜版に紹介されていました。

まず南京事件について、当時虐殺に関わった日本兵の日記を調べてCGで再現されており、その凄惨さに言葉を失います。

さらにすごいのは、「捕虜が集団で抵抗したからやむなく発砲した。」という正当防衛説に丁寧に反論していることです。

正当防衛説の元ネタのさらに元ネタを探していくと、戦後7年目に書かれた連隊長の体験記にたどり着きます。しかし、その連隊長が事件当時現場にはいなかったことが明らかにされて、正当防衛説が否定されます。

真実を追求する記者と番組制作者の熱意に関心させられました。

大門みきしエッセイ

日本共産党参議院議員

「法務省、お前もか」

「カジノ実施法」の国会審議が始まっています。近畿全体にギャンブル依存症を蔓延（まんえん）させる「大阪カジノ構想」をつぶすためにも、何としても廃案に追い込みたいと思います。

そもそもカジノ（賭博）は刑法で禁じられた犯罪です。従来、法務省は、地方自治体などがおこなう「公営ギャンブル」だけを特別立法で合法と認めてきました。その理由は、公営なら、いざとなれば賭博の射幸性（ギャンブル性）をコントロールしたり、社会的悪影響を防ぐために事業に制限をかけることも可能だと考えたからです。

ところが今回の「カジノ実施法」は民間事業者がおこなう「民営賭博」です。なぜ今まで違法としてきた「民営賭博」が急に合法になるのか。法案の正当性を問う根本問題ですが、法務省にいくら説明を求めてもまともな答弁が返ってきません。

しかし経過をたどれば、安倍政権が「民営賭博」解禁を掲げるようになってから、法務省も「民間でも射幸性のコントロールは可能」などとそれまでの見解を180度転換し、「民営賭博」を認める方向に変化してきたのは明らかです。つまり法理論上のことではなく、安倍首相の意向を忖度（そんたく）しただけのことではないのか。

いまや霞が関全体が安倍首相、官邸の顔色ばかりうかがうようになってきています。公僕としての責務を忘れた中央官庁の堕落です。一刻も早く安倍内閣そのものを倒さなければ、この国はますますおかしくなると思いました。

第63回和歌山県

母親大会

7月1日（日）

9:30～12:30

分科会・日高川町立川辺西小学校他

13:00～15:50

全体会・日高川町体育館

記念講演

平和への願いと生きる歓びを歌に託して－Kei　Sugar

主催：母親大会実行委員会